

## フィリピン農村部における生活の変化と生存保障機構

平成 10 年度入学  
派遣国：フィリピン  
加川真美

キーワード： Philhealth 貧困対策 農村開発 地方行政

### 対象とする問題の概要

フィリピンの代表的な社会保障機構には、退職者年金、傷害給付、傷病手当、労災給付、出産休暇給付をおこなう Social Security System(略称 SSS) と医療保険である Philippine Health Insurance Corporation (略称 Philhealth)がある。Philhealth は 1995 年に作られ、法律上は全国民の加入が求められている。だが貧困層の中には加入が困難もしくは、加入しても保険金を納められないため資格を失っている者が少なくない。国民の 1/3 を占める貧困層を、社会保障制度でどのようにすくい上げるかについては、未だ試行錯誤の段階にある。そのため、貧困層の多い農村部における貧困の緩和を目的とした「フィリピン中期開発計画 2004-2010 (MTPDTP,2004-2010)」が策定され実施されている。

### 研究目的

フィリピン全体の貧困率は 32.9%であるが、都市部と農村部の所得格差は大きい。そこで農村部において SSS と Philhealth の普及の実態を知るとともに、「MTPDTP,2004-2010」が高い優先順位をおいている「農村の企業や協同組合の支援」「農道の建設」「農民や現地住民の土地、金融、技術取得への利便性確保」「農民・漁民の生産活動に関する中間搾取の野関与の軽減」「自然災害や経済危機に際した場合の支援」「農村部貧困者の生活向上」の実施の状況を具体的に見ることとした。

### フィールドワークから得られた知見について

調査地の東ネグロス州の貧困率は 49%である。都市部の貧困率は 27.2%にすぎないが、農村部では 54.7%に達している。これは、農村部の平野部においては未だ農地解放の恩恵を受けないサトウキビプランテーションの農業労働者が多数いること、州の 69%をしめる丘陵地や山間部の多くが、農業を行うには厳しい地形であることに起因すると思われる。

調査地のバレンシア町は、海岸部にある州都ドマゲッテイに隣接するものの町内にタリニス山 (1904m) を抱える。そのため、町を構成する 25 の村のうち 5 村が斜度 40%近い傾斜地である。1991 年の地方分権化に伴い段階的に地方行政機関であるバレンシア町が 2003 年から行ってきた特に医療保険事業と山間地農民の農業開発プログラムについて調査した。

バレンシア町では、保健事業に力を入れており Philhealth の保険料を 3 ヶ月納付した世帯

に対しては、残りの9ヶ月を町が負担している。また保健所を中心としたプライマリヘルスケアを充実させるとともに、年に2回無償の健康診断と薬の配布を行っている。よって PillHealth の加入例は多かった。だが Philhealth だけでは治療費がカバーできず病気を理由に土地を売る農民の例もあった。また、最貧困世帯においては、3ヶ月分の Pilhealth の支払いができないために未加入である例が見られた。一方で SSS は Philhelth のような優遇措置が執られていないため、加入率が低かった。

農村開発プロジェクトに関しては、高地の農村への道路の舗装がこの数年で急速に進んだ。また農業技術の指導プログラムや安価な苗の普及プロジェクト、酪農プロジェクトなどが試みられている。中間搾取をなくすために、州都での産直プロジェクトが試みられ、高地の貧困農民が優先的に利用できるようになっている。だが協同組合などに対する資金援助は、ローンが返せないでいる農民も多く、協同組合が数年後に解散する例が見られた。

フィリピンにおける貧困プログラムは、予算額が少ないことに加えて、救済の対象となる貧困者の選定方法が不適切であるために、貧困者以外の者が対象なることや、地方部におけるプログラムの統治に不備があるといった問題が存在している。バレンシア町は町域にあ地熱発電所があり、そこから公害補償を含めた税収が、保健や農村開発におけるプロジェクトに様々な形で有効に使われているのではないかといえる。

## 今後の展望と課題

今回 Lifebank という NPO が農民向けに小口のローンと医療扶助を行っておりそこに加入する農民が少なくないことが分かった。フィリピンでは政府機関のほか、多数の NGO、NPO が活動しておりこれらの援助団体が果たしている役割は無視できない。今回は住民と行政機関の関係に限って調査したが、今後、援助団体と農村部住民の関わりも含めて、生存保障機構について考えてゆきたい。



調査地であるバレンシア町



無料の健康診断



農村開発事業に基づいて舗装された道路と果樹の育成